尾西きららさんがササクラ環境科学財団研究助成に採択



採択通知を手にする尾西きららさん

当研究室の尾西きららさん（修士課程1年）が、ササクラ環境科学財団「2026年度（第10回）一般研究助成」に採択されました。

採択課題は「ナガエツルノゲイトウの分解特性に着目した防除後植物体の安全減量技術の基礎研究」です。今回37件の応募から5件が採択され、尾西さんの研究は「グリーンコミュニティ助成部門」での採択となりました。

ナガエツルノゲイトウは、わずかな植物断片からも再生する特定外来生物です。防除後の植物体は高含水・大体積で、運搬や処理の負担に加え、残渣から再び広がる危険性があります。

本研究では、グリシンベタインなどの植物体成分と微生物による分解との関係を調べるとともに、防除現場を想定した脱水・乾燥処理を検証し、安全かつ低コストな減量技術の確立を目指します。

助成金額は50万円。植物体の分析、微生物群集の解析、現地での減量試験へと研究を発展させます。